

# 小緑小だより

第二十九号

平成二十三年

三月三日

小緑小学校  
校長室発行

與儀茂

早寝

すいみん

朝ごはん



## ほくも、わたしも、はやく1年生になりたいな 幼稚園児と保育園児を迎えて新一年生をお招きする会

二月二十五日、1年生が、4月に入学する新1年生をお招きした。本園のばら組とゆり組、そして他園から保護者と一緒に参加した弟妹たちを笑顔で迎え、アをつくってすわる。1年生全員で両手を大きく伸ばして歓迎のダンス。鮮やかに描いた絵を見せながら、この1年間の楽しかった学校生活を紹介した。あそび大会は祭りの出店のにぎわい。魚釣りや宝探し、お化け屋敷、トンネル探検、コマ廻し、くじびき、ゴムでつぼう等、遊びのルールを教える1年生は大忙し。園児は小学校への期待と不安で参加したが、1年生お兄さんお姉さんの心やさしい案内で大きな安心感を抱いた。

## 2020年うちゅうりょこうにいこう 子どもが作る「まんが絵本」の創造力



3月2日の休み時間に1年生が来室した。お話しに来る1年生は多いが、この日は、ふうなさんが、ちなつさん作の絵本と作者本人を案内する。本を開いて驚いた。上手な字で題名と登場人物、係名、目次がある。次には見開きでロケットの絵と中のようなすが描かれ、6ページから絵と文で語る。「ロケットがはっしゃする日です。みんなそろってきんじよやおとなりにおわかれのあいさつをしました。」20ページまで目次の通りに進んでいく。美しい文字で文を綴り、知識を散りばめる。登場人物は友だちの名前。多様なセリフに豊かな想像力。

## 6年生がリードしてきた児童会活動も1年間の締めくくり



全校児童が1年間集めた牛乳パックと結核予防の募金を贈呈する6年生児童会役員



小学校の思い出に桜の苗木を正門前に植える6年生

将棋、レスリング、読書感想文、版画、バレーボール部の伝達表彰

**対話の窓** ちなつさん作まんが絵本には驚いた。1年生で物語を作れる才能の芽。将来どんなに伸びるか楽しみ。学校で培う基礎学力を存分に活かす家庭教育の力は大きい▼これを機に小禄小学生全体の持つよさも宣揚したい。独りよがりではなく、子どもと保護者、教師の一致した世論、ならぬ「校論」作りをめざして。校長はその急先鋒となつて♪吾等是小禄小学生の「ここが一番」を提案しよう▼海邦都市、那覇の玄関として地の利増す校区。六十余年の伝統を地域で守り、児童数は適正の学校規模。どの子も自分の名前に誇りを持って確かな存在感。幼小連携で年長が年下に優しく教える有能感。男女別になかよし、仲間はずれの友に自分一人でも味方する自己決定力もある。これらを束ねて・・・とのいきました！「友だち思いの小禄小学生」はいかがでしょうか▼児童朝会で子ども達に意見を求めると、こうた君「あいさつ上手」、あおい君「やさしい」、はやと君「元気で明るい」と次々に発表。私の提案にも賛成する多くの挙手があった。その日から、自分なりの考えを持つ子ども達と校長室で対話している。4年生さきさんは「元気に登校」。みおりさんは「花いっぱい」がいいと▼6年生まきと君とりゅうせい君は、小禄小の一番は「みんななかよし」であると口をそろえて言う。二人はケンカもするほどのなかよしだから「なかよし」には説得力がある。